

平成30年度 東洋大学IRシンポジウム



主催：東洋大学IR室

【開催趣旨】

これまで各大学では、学修時間の把握や学生の主体的な学びの機会を増やすなどの取り組みを進め、教育の質的転換に資するよう、学修時間の実質的な増加・確保を図ってきたことと思います。果たして本当に学修時間の重要性は認識され、学修時間は増えたのか。どのような教育的な効果が見られたのか。教育改革の原点でもあった学修時間に再度焦点を当て、質を伴った学修時間の確保について、もう一度考える機会として、シンポジウムを開催いたします。

○ プログラム

- 13:30～13:35 ● **開会**
開会挨拶 竹村 牧男 東洋大学学長・IR室長
- 13:35～14:10 ● **【講演1】 大学生の学修時間—全国大学生調査の結果から**
濱中 義隆 氏 国立教育政策研究所 高等教育研究部副部長・総括研究官
- 14:10～14:40 ● **【講演2】 東洋大学の学生の学修時間—**
「新入生アンケート」「在校生アンケート」「卒業時アンケート」による検証
劉 文君 東洋大学 IR室 教授
- 14:40～14:50 ● 休憩
- 14:50～15:50 ● **【特別講演】 学生の自律的な学修時間をどう増やすか**
金子 元久 氏 筑波大学 大学研究センター 特命教授
- 15:50～16:00 ● 休憩・質問紙記入
- 16:00～17:00 ● **【パネルディスカッション】**
進行・総括 高橋 豊美 東洋大学副学長・教務部長

学生の自律的な学修時間をどう増やすか

参加
無料

平成**30**年**12**月**15**日(土)

13:30～17:00 (開場 13:00～)

東洋大学白山キャンパス 8B11教室 (8号館地下1階)



お申込はコチラ

お問い合わせ：東洋大学学長室 mlf.djim@toyo.jp

講師紹介



金子 元久 氏 筑波大学 大学研究センター 特命教授、東京大学 名誉教授

東京大学教授、同大学院教育学研究科長・教育学部長、国立大学財務経営センター研究部長などを歴任。中央教育審議会委員、日本学術会議会員、日本高等教育学会長などを歴任。主な著書：『大学の教育力：何を教え、学ぶか』筑摩書房（2007年）、『大学教育の再構築：学生を成長させる大学へ』、玉川大学出版部（2013年）等。



濱中 義隆 氏 国立教育政策研究所 高等教育研究部 総括研究官・副部長

大学評価・学位授与機構学位審査研究部助教授、開発部准教授などを経て、現職。主な著書：『高専教育の発見-学歴社会から学歴社会へ』岩波書店（共編著、2018年）、『大衆化する大学-学生の多様化をどうみるか』岩波書店（共著、2013年）、『大卒就職の社会学-データからみる変化』東京大学出版会（共著、2010年）ほか。



劉 文君 東洋大学 IR室 教授

東京大学大学総合教育研究センター特任研究員、同大学政策ビジョン研究センターシニア研究員などを歴任。主な著作：『中国の職業教育拡大政策-背景・実現過程・帰結』東信堂学術出版社（2004年）、『学生からみた東京大学-3つの東大生調査から』東京大学大学総合教育研究センター（共著、2012年）等。

お申し込み

【お申し込み期限】平成30年12月14日(金)

【お申し込み方法】

本学ホームページまたは、
右記のQRコードよりお申し込みが可能です。



アクセス

- ・都営地下鉄三田線 白山駅
「正門・南門」A3出口より徒歩5分
「西門」A1出口より徒歩5分
- ・東京メトロ南北線 本駒込駅
「正門」1番出口より徒歩5分
- ・都営地下鉄三田線 千石駅
「正門・西門」A1出口より徒歩7分

※駐車場はございませんので、公共交通機関にてご来場ください。



その他

- 【対象】 高等教育関係者（大学教職員等）およびその関係者
- 【定員】 300名
- 【参加費】 無料